



無所属  
政策派

発行人 小林伸行 よこすか  
住所 野比2-13-18 未来会議  
Fax 050-3737-3872  
☎070-6640-3927  
✉info@kobayashinobuyuki.com  
Web www.kobayashinobuyuki.com

f t BLOG 小林のぶゆき 検索

野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市長)の公設秘書として修行し、2011年4月より横須賀市議会議員。現在3期目。マニフェスト大賞でも多数受賞する政策派。会派・よこすか未来会議に所属。

## 特集

# このまちの動かしがた

## 「市民がつくるまち」へ。議会からの再挑戦。



## 特集

# このまちの動かしがた 「市民がつくるまち」へ。議会からの再挑戦。

今回は、面白くないけれど、大事な話をお伝えします。



4月の選挙後、議会の1/3を占める13名の新会派「よこすか未来会議」を結成しました。事実上の地域政党です。これによって、横須賀市がどう変わるのか？ その見込みと意義をお伝えします。

## ■市議なんて要らない？



「市議会議員なんて、いてもいなくても一緒」  
「何やってるのか、よくわからない」



よく、そう言われます。同感な方も多いでしょう。これは要するに結果を出せてないからだと思います。結果とは、つまり「市民の願いの反映」です。

そして、結果を出せないのは、市長以下の職員に任せっきりだからだと思ふのです。議論をして議会から方針を指し示す、という仕事をサボってきた。そう言われても仕方がないと思います。

## ■でも、決定権は市議会にある！

一方で実は市議会は大きな権限を持っています。最終決定権は、市長ではなく議会が持っていて、議会が「No!」と言ったら市長もできないのです。

## ●中学校給食をやるのか、やらないのか？

については、議会から道筋をつけました。\*1

その一方で、



- 小学校の統廃合をどうするのか？
  - 公共施設のリストラをどうやってやるのか？
  - 下水道料金は誰にどのくらい負担して頂くか？
- こういった、市民への影響も大きく関心も高い問題で、議会は方向性を示せたのか？ どれだけ存在感があったのか？ それが問われていると思います。

## ■議会を使って、市を動かそう

市民のみなさんで市役所に要望をしたことがある方もいるでしょう。ところで、その要望に応えるも応えないも、市長以下の職員次第ですよ。

しかし、もし決定権者の議会の過半数が「やれ!」と言ったら市は原則として断れません。そして、その市議会のメンバーは、市民が直接選んでいるわけです。だったら、「議会はだらしがない!」と嘆くより、強力な権限を持っている議会に市民に役立つ仕事をさせたほうがトクだと思いませんか？

だからこそ、私は市議として8年間、「市民の声を反映する仕組みづくり」に最も力を注いできました。もちろん、中学校給食や行政リストラなど、個別の政策にも取り組んできましたが、それも市民の願いの反映です。

結局、議員の仕事はそれに尽きるのだと考えています。



\*1 私が焚き付けたが最後は故・木下憲司議員の提案で2013年6月に「中学校給食を検討せよ」と議会として命じたことが大転機となった。



## ■よこすか未来会議が横須賀市を動かす!?

そして、市民の声で市政を動かすために、最大会派・よこすか未来会議を結成しました。だからこそ会派として最初に実施したのが広聴会でした。

もちろん広聴会にいらっしゃる方の声が全てではありません。また、全ての声に応えられるわけでもありません。しかし、大事なことは、市民に開かれていて、聞く耳を持っていることだと思うのです。

## ■まちを動かすプログラム「マニフェスト」

そして今回、広聴会や普段から集めた声をもとに「どんな政策が市民のみなさんに役立つのか?」を13人で議論を重ね、4年間のマニフェストをつくりました。おそらく横須賀市議会初の取り組みです。

とはいえ、「政治家の公約なんて、どうせ実現されないでしょ」「できるかどうかもわからないのに、できたらいいなと思うことを並べただけでしょ?」と思う方も多いかもしれない。気持ちはわかります。

ただし、私たちは、どのくらい公約を守ったかを報告してご意見を伺う広聴会の年2回開催を約束しています。「言ったきりあとは放ったらかし」ということにはならない仕組みです。

マニフェストはコチラから↓

よこすか未来会議

検索



## ■激論をくぐり抜けた政策実現チーム

とはいえマニフェストづくりは大変な作業でした。13人は同じゴールを共有して会派を組みましたが、どんなルートで進めばいいかは、様々な考え方がありました。しかし、新人もベテランも関係なく主張すべきことはして、時間をかけて激論を交わす中で、みんなが納得できるマニフェストが完成しました。

議論による合意形成をして方向性を示せる会派だからこそ、議会全体でも同じ仕事ができる。市民も巻き込んで一緒にまちをつくっていける。私たちがその核になれる。この間、そう実感しています。

## 「市民がつくるまち」への再挑戦

このマニフェストは、いわば「議会から横須賀市を動かしていく」という宣言です。少なくとも私にとってはそうです。別に市役所と議会との主導権争いではありません。「市民がつくるまち」か「お任せ政治」かの争いです。「市長以下の職員と切磋琢磨して、市民満足を競うぞ」ということです。

逆に言えば、これは権限を十分に発揮する反面、決定責任も負うという意味です。市長以下の職員のせいにはしない。私は、最初からその覚悟です。

かつて市民が大きな期待を抱いた「市民が主役のまちづくり」を議会からやり直す。その決意表明です。

## 編集後記

10/2に会派でマニフェストの説明会を開いたところ、80名近い方にお越し頂きました。会場の定員を超えてしまい慌てて隣の部屋も借りました。新聞等でも取り上げて頂き、政策本位の政治を求める大きな期待を感じているところです。

10/4には、会派がマニフェスト大賞で受賞したことも報じられました。正直、最初は一つのチームになれるか不安でしたが、いいスタートです。これからどれだけ結果を出せるか!

とはいえ、4月の選挙後、もう半年が経ちます。マニフェストづくりを言い訳にしばらく市政報告をお休みして申し訳ありません。この4年も変わらず「見える化」していきます。



## 応援してください!

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金は頂いていません。

## 小林のぶゆきの基本政策

みえる

誰が何をどう決めてるのかぜんぜん見えない……。

市政をガラス張りにして「見える化」し、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる

難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

かわる

これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。必ず私、小林伸行が自分で目を通します!

